

函館市役所職員労働組合との交渉の概要

- 交渉日時 平成27年11月24日（火）18：30～20：25
- 交渉場所 市役所8階大会議室
- 出席者 当局側 中林副市長，各部局長他 計約40名
組合側 長谷川執行委員長，他 計約60名

交渉項目	平成28年度 事務事業・組織機構の見直しによる職員数の見直しについて
交渉要旨	<p>(組合)</p> <p>基本的にはこれまでどおり，労使の信頼関係が基本となって議論されていくと思うが，提案内容の一つ一つの業務には，様々な課題などがあると思うので，支部交渉などでは，誠意を持った対応をお願いしたい。</p> <p>また，今回，提案のなかった職場についても，ぜひこの機会に，業務の効率性や職場環境づくりなど，職員と意見交換を行っていただきたい。</p> <p>これから人口減少対策を行っていくことになると思うが，人口減少にあった財政規模，職員数について，人口減少になった時点で対応するのではなく，今ある業務を大胆に見直していくことも必要ではないかと思う。職員側からの提案も必要であり，この機会に議論していただきたい。</p> <p>人事評価についても，管理職と職員との面談について充実させてもらいたい。</p> <p>職場の環境については，突然の退職や病気の方も増えており，職場の中できちんと話し合うのが大事である。職場環境が良ければ，乗り切ることができると思うので，マネジメントを発揮するなど，皆さんの力もお貸しいただきたい。また，職員とぜひ意見交換をしていただきたい。</p> <p>骨太の方針2015が出て，初めて打ち出されたのがトップランナー方式で低コストの自治体の水準を基に交付税を算定するような仕組みや，より民間委託を拡大しろというような内容が盛り込まれており，これからの国の地方行政に対する方向性が不透明である。今回の骨太に対する考え方やこれからの行革における取り組みなど，回答交渉の時には聞かせていただきたい。</p> <p>(中林副市長)</p> <p>これからは，削減するのは厳しい時代だと思っている。人口が減っても，市民のニーズは多様化，複雑化している。そのために職員も苦勞している状況にあることから，すべての職場で職員と管理職と意見交換をさせたい。</p>

	<p>新しい仕事は増えている中、管理職だけではなく、職員も含め、お互いに知恵を出し合って、スクラップできる仕事はないのか、十分検討してもらいたいと思う。</p> <p>職場の人間関係についても、ストレスを背負い込み、リセットできない中で、仲間を作るということが必要だと思う。そして、管理職もマネジメントをしっかりと行いたい。そのためにも、皆様の力もお借りしたい。</p> <p>(提案内容については、各部局長から説明し、概略的質疑が行われた。詳細な事項については各支部で協議を行うこととなった。)</p>
交渉結果	(交渉継続)
備考	

(総務部行政改革課 平成 27 年 12 月 10 日現在)